44 玉川村（たまかわむら）

コード番号	075027	類型	Ⅱ－1

村章	所在地	〒963－6392 石川郡玉川村大字小高字中畷９番地	
	所在地標高	海抜　262.00ｍ	
	ＴＥＬ	0247－57－3101	ＦＡＸ　0247－57－3952
	ＵＲＬ	https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/	

キャッチフレーズ：未来（あす）が輝く村づくり“元気な”たまかわ

村花	山桜	ＰＲキャラクター：山鳩のクックちゃん
村木	赤松	
村鳥	山鳩	

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)
村長（1期）	須釜泰一（すがまやすいち）	令和９年４月29日	758.0千円
副村長	丹内一彦（たんないかずひこ）	令和９年６月30日	607.0千円
議長	小針竹千代（こばりたけちよ）	令和10年３月30日	304.0千円
副議長	石井清勝（いしいきよかつ）	令和10年３月30日	239.0千円

村の概要

（自然条件）
福島県の南部に位置し、阿武隈山地の西斜面の丘陵地と阿武隈川東岸に開けた平坦地に大別され、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた住みよい村である。福島空港の所在地である当村は、交通の利便性に優れた地域として発展しつつある。

（産業・経済）
農業は、米、野菜を中心に畜産等の複合経営が行われている。近年は、小菊、リンドウなどの花き栽培を推進しており、特産品のさるなし、トマトなどとともに、生産物直売所「こぶしの里」等で販売活動をしている。また、玉川工業団地への立地企業をはじめとする村内企業は、空港や道路環境の整備による交通の利便性を生かし、雇用面からも地域活性化が図られている。さらに、あぶくま高原道路などの高速交通ネットワークが整備され、ますますの発展が期待される。加えて、令和２年３月に閉校した旧須釜中学校を活用した「すがまプラザ交流センター」を複合型拠点施設として、オフィススペースやコワーキングスペース等を備え「新たな人の流れ」の創出を行っている。

（観光・文化）
芭蕉の「奥の細道」ゆかりの地、乙字ヶ滝は「五月雨の滝降りうつむ水かさ哉」の句碑と共に桜の名所でも知られている。また、福島空港公園を訪れる家族連れや観光客も年々多くなってきており、地元特産品を目当てに訪れる方も増加している。また、村では観光交流施設「森の駅yodge（ヨッジ）」を中心とした体験型の観光や、令和６年９月にオープンした複合型水辺施設「乙な駅たまかわ」を通じて、交流人口の拡大・創出に努めている。
文化面では、国重要文化財指定の「石造五輪塔」、「東福寺舎利石塔」や県重要文化財指定の「宮ノ前古墳」など文化財も豊富で、古墳や遺跡も数多い。

（伝統行事・伝統芸能）
県無形重要文化財指定・福島遺産百選認定の「南須釜念仏踊り」は、毎年４月３日と８月14日に艶やかな衣装を身につけた少女たちによって踊られる。また、８月13日に「玉川夏まつり・花火大会」が開催される。

（特産品）
米、トマト、きゅうり、いんげん、さやえんどう、なす、大豆、さるなし、いちじく、ぎんなん、ブルーベリー、小菊、リンドウ

Ｒ８年度重点事業

（震災以外）	○結婚・出産・子育て支援事業	622百万円
〃	○移住・定住支援と居住環境整備事業	151 〃
〃	○防災・消防体制強化事業	341 〃
〃	○農林業振興事業	116 〃
〃	○観光・交流活動推進事業	147 〃
〃	○学校教育環境充実整備事業	416 〃
〃	○情報化推進事業	185 〃
（震災関連）	○東日本大震災復旧・復興関連事業	23 〃

主な地域開発区域指定状況

辺地　過疎　準過疎　山村　豪雪
特豪　農産　特農　原発

区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
Ｈ17年国調	7,602人	1,184人	1,631人	1,944世帯	74世帯	46.67㎢
Ｈ22年国調	7,231人	1,036人	1,695人	1,923世帯	82世帯	人口密度
Ｈ27年国調	6,777人	894人	1,819人	1,974世帯	111世帯	130人/㎢
Ｒ２年国調	6,392人	795人	2,024人	1,980世帯	154世帯	
Ｒ7.1.1住基	6,050人	629人	2,103人	2,204世帯	高齢化率	34.76% 県下43位

産業別就業人口（Ｒ２年国調）	第１次産業	第２次産業	第３次産業	一人当り分配所得（Ｒ４年）
	（14.1%）471人	（40.4%）1,347人	（45.5%）1,517人	2,640千円 県下27位

有権者数Ｒ8.3.1	男	2,565人	女	2,533人	計	5,098人

議員	（旧）法定上限	18人	条例定数	12人	衆議院議員選挙区
	現員	12人	任期	令和10年３月30日	第２区

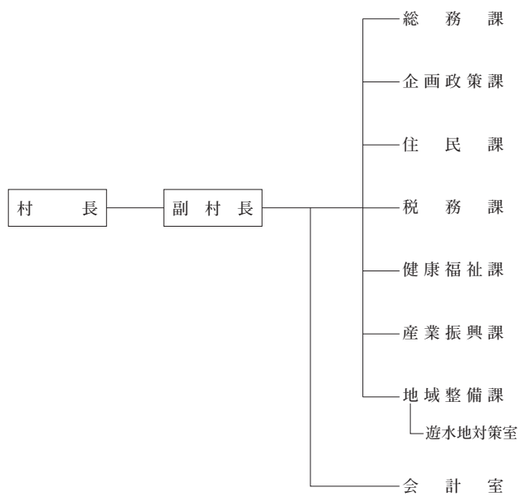
村の沿革

昭30.３.31合体　泉村、須釜村

総合計画等の策定状況

名称	第６次玉川村振興計画
策定年月日	平成28年３月15日
計画期間	平成28年度から令和７年度まで

組織機構



一部事務組合等への加入状況

公立岩瀬病院企業団
須賀川地方広域消防組合
石川地方生活環境施設組合

職員数				
一般行政職員	57人	技能労務職員	0人	条例定数
教育職員	4人	その他	16人	92人
Ｒ８合計 77人		企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、１年を超えて勤務する定数外職員を含む。		
	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
職員総数	70人	71人	71人	75人

財政（普通会計）

(1) 決算

（千円）

区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高
Ｒ４決算	5,020,193	4,507,100	513,093	334,907	180,389	1,829,763	955,916	3,388,302	356,247
Ｒ５決算	5,346,671	4,976,701	369,970	334,026	▲ 54,778	1,655,984	902,019	3,455,949	350,000
Ｒ６決算	4,915,169	4,584,099	331,070	260,684	▲ 191,737	1,467,768	783,624	3,322,490	382,500

(2) 指標（　）は類似団体

（千円・%）

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率：実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率：比率	備考（事業名等）
Ｒ４決算	（3,443,307）2,511,483	（0.34）0.36	（86.1）90.2	－	－	（8.3）10.7	41.4		
Ｒ５決算	（3,451,910）2,566,880	（0.35）0.34	（87.3）96.0	－	－	（8.4）11.5	82.5		
Ｒ６決算	（3,513,993）2,623,771	（0.35）0.34	（88.0）95.4	－	－	（8.7）12.0	119.9		

(3) 主な歳入（　）は構成比

（千円・%）

区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計
Ｒ４決算	（14.7）738,956	（38.0）1,906,522	（14.6）731,395	（6.4）321,372	（7.7）387,977	（18.6）933,971	（100.0）5,020,193
Ｒ５決算	（13.9）744,589	（33.9）1,813,706	（12.6）675,698	（6.2）331,346	（8.6）459,540	（24.7）1,321,792	（100.0）5,346,671
Ｒ６決算	（14.6）716,013	（38.1）1,871,421	（10.3）507,320	（7.2）352,808	（5.1）250,561	（24.8）1,217,046	（100.0）4,915,169

(4) 主な歳出（　）は構成比

（千円・%）

区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計
Ｒ４決算	（14.7）664,285	（16.4）740,308	（23.8）1,073,579	（10.2）460,905	（8.3）372,763	（11.5）517,497	（15.0）677,763	（100.0）4,507,100
Ｒ５決算	（14.1）703,072	（15.2）756,760	（21.0）1,045,306	（10.6）526,034	（8.1）402,378	（18.6）924,966	（12.4）618,185	（100.0）4,976,701
Ｒ６決算	（17.2）787,894	（16.4）750,265	（21.6）992,212	（12.6）577,549	（8.6）396,325	（10.8）496,353	（12.7）583,501	（100.0）4,584,099

(5) 税の徴収率（国民健康保険税除く）

（%）

	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち：市(町村)民税	固定資産税		現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち：市(町村)民税	固定資産税
Ｒ６決算	99.4	22.7	97.2	99.3	99.3	Ｒ５決算	99.1	33.5	97.2	98.8	99.2

公共施設整備状況

道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学
195,543ｍ	129,740㎡	188戸	－園 －人	1園 162人	2校 288人	1校 144人	－校 －人	－校 －人	－校 －人

老人ホーム	公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率
－所	1館	14所 2,176㎡	7所 0床	0院 0床	75.2％	82.0％	100.0％	91.6％	98.6％

公営企業（Ｒ６決算）　（　）は法適用企業にあっては経常損失、法非適用企業は実質赤字（千円）

（法適用）

（法非適用）

主な郷土出身者

瀬谷藤吉（元日本コロンビア社長）
広川弘禪（元農林大臣）
熊田藤作（画家）

今後の主要課題

（震災以外）
○皆で支えあう福祉の村づくり
○環境にやさしい安全・便利な村づくり
○暮らしを支える産業が伸びゆく村づくり
○未来を担う人材を育てる村づくり
○多様性と協働の村づくり

（特色ある施策）
○子育て支援事業
○健康づくり推進事業
○定住促進事業
○農業振興事業
○学力向上支援事業

（姉妹都市）
中華民国鹿谷郷

主な立地企業

福島双羽電機㈱、林精器製造㈱玉川工場、㈱片山ゴム福島工場、㈱TBK福島工場、中根精工㈱、㈱エバタ製作所、㈱福島エンヤ、㈱ウェーブ21ポートピア玉川営業所、㈲佐藤製作所